

## 令和4年度 家庭教育学級 開催のご報告

師走の候、PTA 会員の皆さまにおかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

11月8日に、家庭教育学級として『子どもが「好き・得意・やりたい」を見つけるための「探究力」と「失敗力」の育て方』をテーマとした講演会を、教育ジャーナリスト マザークエスト代表 中曽根陽子先生に行っていただきました。

子どもの「好き・得意・やりたい」を見つけることが重要となる時代背景についての丁寧なお話から始まり、「探究力」と「失敗力」の育て方に関する実践的なご説明へとつながり、講演を聞かれた皆さんが、早速実践しなくなるような内容となっております。簡単ではありますが、講演内容をご報告いたしますので、講演を聞かれていない方々にも、実践につなげていただけたら幸いです。

### 中曽根 陽子先生

#### 教育ジャーナリスト マザークエスト代表

出版社勤務後、女性のネットワークを活かした編集企画会社を発足。「お母さんと子どもたちの笑顔のために」をコンセプトに、数多くの書籍をプロデュースした。現在は、教育ジャーナリストとして、紙媒体からWEB 連携まで幅広く執筆する傍ら、海外の教育視察も行う。ポジティブ心理学コンサルタントも取得し、最近では子育て教育探究ナビゲーターとして、親に寄り添った発信をしている。最新刊『成功する子は「やりたいこと」を見つけている』他著書多数。

## 子どもたちが、これから生きていくのは、どんな時代？

これから、子どもたちが生きていくのは、VUCA の時代

Volatility（不安定で、変化が激しく）

Uncertainly（不確実で、先が読めない）

Complexity（複雑で）

Ambiguity（曖昧模糊）

近年も、新型コロナによって、当たり前がガラッと変わった。

これから先も1年後、5年後、10年後は分からない。そんな時代を子供たちは生きていかなければならない。

### 求められる力が、変わってきている

AI 技術などデジタル技術の発展により、社会の仕組みや経済構造が変化しており、社会で求められる力が非常に変化している。これまでは、いい大学に入って、いい企業に就職すれば将来は安泰とされていた時代。上から指示されたことを確実に実行できる人が評価された。これからは、自ら考え、行動して、新たな価値を創造できる人が求められ、評価される時代。転職が当たり前の時代になっていく。自分のやりたいことを見つけて、自分も周りも幸せにできる、という生き方ができるのが幸せにつながる時代になってきた。

### 正解を教え込む教育から、主体的な学びへのシフト

小さいときから、子どもたちに自分で考える力をつけていこうという教育に変わろうとしている。

一方的に正解を教える教育から「主体的・対話的・深い学びをしましょう」へ。

## 大学入試の変化 ⇒ 小中高の教育の変化へ

・大学入学共通テストが、2024年から思考力重視の問題に変わっていく。今までなら、正解として書くことが、問題の中に書いてあって、そこに至るプロセスを問われるような問題になる。大学入試が、たくさんの知識ばかり問うような問題を出し、1点きざみで合否を分けるようなテストをやっている限りは、川下（小中高）の教育は変わらない。そのため、川上（大学入試）から変えていこうとしている。

・年内入試（推薦型・総合型）を行う大学の割合が50%を超えてきた。私立では6割超え。多様な生徒をとりたいたいという大学が増加し、ペーパーテストでは計れない、どんなことをやってきたのか、活動歴や意欲を見るようになってきた。

今後は入試でも、偏差値的な学力より

「物事に主体的に取り組む意欲」、「学んだことを人生や社会に活かそうとする姿勢」が重視されるようになる  
つまり、

「自分は何が好きなのか・何がしたいか・何かできるか」を探求していくことが、将来の道を開くことにつながる時代になった。

## やりたいことを見つけ、あきらめずに頑張れる子に育てるには？

好きなこと・得意なことを見つけるには

好きなこと・得意なことを生かして仕事をしていく時代になる。

好きなこと・得意なことを見つけていくためには、子どもの頃から、自分で考え、選択し、行動する体験を重ねることが大切！

何が好きなのか、何ができるのか、チャレンジしてみないとわからない。

↓

やってみれば、当然失敗もする。チャレンジしてやっぱりうまくいかないことを、いっぱい体験していく。これをくぐらないと好きなこと、得意なことは分からない。

### こちこちマインドセット・しなやかマインドセット

こちこちマインドセット：能力は生まれつき決まっていると考える。

失敗するのは能力がないからと感じ、挑戦できない。

しなやかマインドセット：能力は努力することで伸びると考える。

失敗は成功への道。

努力も熟達への道と考え、プロセス自体を楽しめる。いくらでも頑張れる

どちらを持つかは、小さいころからの親の関わり方で決まる！！！！

### 「しなやかマインドセット」を育てる親の関わり方

正解がない、変化の激しい時代に必要なのは・・・

探究力：自分は何が好きで、何がしたくて、何ができるのかを探して、自分で考え、選んで、生きていく力

失敗力：経験したことのないような困難に出会っても、そこでくじけずに前に進む力

しなやかマインドセットを育てていくことは、探究力・失敗力を育てていくこと。

### 探究力・失敗力を育てるキーワード

1. 焦らない
2. 決めつけない
3. コントロールしない

## 1. 自ら「好き」を見つけるための焦らない育て方

<子育ては脳育て>

すべては、脳が支配している。丈夫な脳を育てることから始まる。

脳は大きく3つの部分があり、それぞれに働きが違う。発達する順番も決まっている。

- 1 からだの脳：立つ・歩く・呼吸する、などを司っている。0-5歳くらいまでに育つ。
- 2 あたまの脳：知能（言葉や思考）を司っている。6-14歳を中心にして18歳くらまでに育っていく。
- 3 こころの脳：感情のコントロール。周りを見て動くなど、高度なことができるようになる。10歳くらいから発達し始め、14・15歳くらいまでに主に発達する。

からだの脳がしっかりとした土台に育ってないうちに、上に乗るあたまの脳ばかり育てても、バランスが悪く、最後のこころの脳がうまくつながらなくなってしまふ。打たれ弱い子になってしまう。ちょっとしたトラブルや失敗などマイナスな体験したときに、ほくはダメだとこちこちマインドセットになってしまう。

回り道のようにだけれども、順番を守って、しっかりとからだの脳から育てていくことが大事。焦らない。

<土台を作るために大事なこと>

1. 発達の順番を知ること
2. 早寝・早起き・朝ごはん ← 一番大事（推奨の睡眠時間は、小学生の場合10時間、少なくとも9時間）  
遅寝・遅起きではなく、朝は、6時や6時半に起きて、朝日をあびる。
3. 自由な遊びと余白の時間 ← 休み時間に体を動かす、放課後に遊ぶ程度でOK。遊んでいるだけでも、大事なことをいっぱい学んでいる時間。ぼーっとしている時間も大事。

## 2. やりたいが育つ、やり抜ける子になる決めつけない育て方

できていないところよりできているところに注目した方が人はのびる！

お子さん自慢をしましょう。お子さんの良いところを3つあげてください。

書いて、お子さんに渡してあげたり、貼ったり、そっと置いておくでもOK。

自分の良いところは、自分では気付けない。言われるとうれしいもの。

## 3. 自分で考え動ける子になるコントロールしない育て方

日常に起きるちょっとしたトラブル（お友達と喧嘩した、習い事を辞めたい、いつも忘れ物をする、ゲームの時間を守れない、など）は、考える力を育てる絶好のチャンス！

「て」を「たら」に変えた声掛けを積み重ねる。

「どうして、・・・。」責めている。過去に向かって原因を追究する問いかけになっている。子どもは、責められた気持ちになり、言い訳が出てくる。

「どうしたら、・・・。」提案している。未来に向かって解決を促す質問。人は、「どうしたら」と聞かれたら、答えようとする。考えるようになる。行動に変わる。会話が生まれてくる、その先に進めることができる。

日常生活に転がっているトラブルは、考える力を育てる絶好のチャンスとポジティブにとらえ、ぜひやってみてほしい。考える力を育てる問いかけをしていくことで、自分で自分をコントロールができる力を育てていく。

親の言う通りにしていたら、自分で考える力が育たない。手放しにするのではなく、子どもが自分でコントロールできる力を育てる。

**「進路など、大事なことを自分で決めてきた子どもほど幸せになれる。幸福度が高い。」**

日本人8000人に聞いたデータ。

自分の重要な進路の決定を自分でしてきたと思える人ほど幸福度が高い。

自己決定が人の幸せに非常に大きな影響がある。

難しいことが起きたとしても、自分で選んだ道だと思えば、頑張れる。

親に決められた道に進んで、うまくいかないことがあったとき、あっちにすればよかったと、親のせいになってしまう。自分で考えて決めていくことが、その後の幸せにつながる。

いろんな足がかり、足場掛けをしてあげる、寄り添ってあげることが、親としてできることではないか。

●講演後のアンケートでは、よい学びになったとのご感想をたくさんいただきました。

次回の家庭教育学級は、「おこづかい」をテーマに2月に開催予定です。皆さまのご参加をお待ちしております。

以上